

令和4年度の研究の概要

雲南市立佐世小学校

1 研究主題 対話を通して、課題を解決しようとする子どもの育成 ～ ICTを活用した授業づくり ～

2 主題設定の理由

(1) 今日の課題から

これからの社会は、グローバル化や情報化が加速的に進む中で将来の予測が困難で複雑となり、社会的変化の影響があらゆる領域に及ぶ時代になると考えられる。そのような変化の激しい時代を生きる児童には、予測の難しい状況の中であっても主体的に判断し、対話や議論を通じて他者と協働して課題を解決したり、新たなものを創り出したりしていく力が必要となる。学習指導要領においても、学校教育で育みたい資質・能力として「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力、人間性等」が示され、この三つの柱に沿って目標が立てられている。特に「思考力・判断力・表現力等」においては、より質の高い対話力が求められている。

そこで主体的・対話的な学びに向けた授業改善を通して必要な資質能力を育む効果的な取り組みが求められていると考える。また、2023年度までを目標としていた「GIGAスクール構想」が、新しい生活様式への対応を経て大きく前進し、次のステージへと進んでいる。1人1台の端末と高速通信ネットワーク、クラウドなどを活用し、教員と児童が双方向にコミュニケーションをとり、それぞれの児童に個別最適化された学びを提供する環境が整備された。ICTは教員が一方通行の勉強を教えるツールではなく、児童が学ぶためのツールである。授業に留まらず家庭学習にも活用し、日常の一部として創造的に学ぶ活用能力が求められていると考える。

(2) 学校教育目標・児童の実態から

本校では、「夢をもち、自分のよさを発揮して、たくましく生き抜く子どもの育成」を学校教育目標とし、学習においては、「めざす子ども像」のうちの「考える子～自分で考え、学ぼうとする子ども～」の育成を目指している。

全国学力調査の結果から文章の情報量が少なく、絵などの情報量が多い問題では正答率が高かった。一方で文章の情報量が多い問題から必要な情報とそうでない情報を取捨選択し、解答するということに課題が見られた。対話の場面でも複数の意見を適切に受け止め判断し処理するという点で、この力を伸ばしていく必要があると考える。

ICT活用の実態は、昨年度から児童一人一人に端末が貸与された。また、チームスのアカウントやeライブラリのID・PWも割り当てられ学習の記録を残せるようになった。今年度からは毎週金曜日の朝活動の時間に、端末活用の基礎力となるタイピング技能の練習時間を設け取り組んだ。

本研究は、これらを授業の中に効果的に取り入れることで、より主体的・対話的な学びの一助となる方法を探っていく。

3 研究の目的

対話を通して、課題を解決しようとする子どもの育成をするために、ICTを活用した授業づくりや、効果的な取り組みを探る。

4 研究仮説

主体的に学習に取り組むための課題設定や学習活動を工夫し、ICT機器を効果的に活用すれば、児童は対話を通して主体的に課題を解決しようとするであろう。

5 研究の視点と取組内容

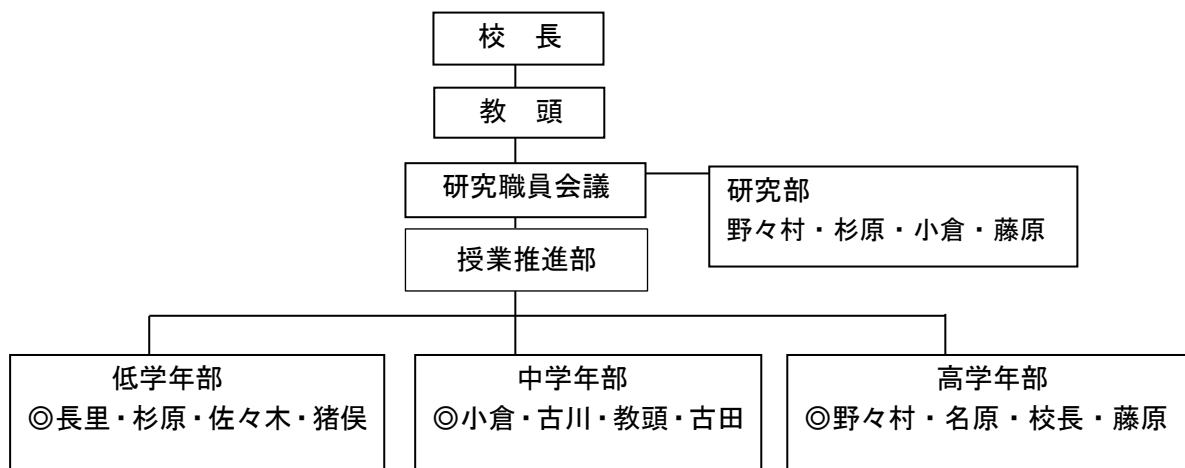
| 視点 | 内容 |
|----------------------------|---|
| 児童が主体的に課題を解決しようとするための工夫や支援 | ○必然性のある単元ゴールや課題の設定 ○ねらいに向かう必然性のある学習活動 ○ICT活用の工夫 |
| 対話による深い学びのある授業にするための工夫や支援 | ○ねらいを明確にした言語活動の工夫 ○考えを形成するための支援 ○伝え合う場の工夫 ○考えを深め合うための工夫 ○ICT活用の工夫 |

ICT活用として、以下の4点を挙げる。

- (1) 児童が情報を収集したり選択したりするためのICT活用
- (2) 児童が学習内容をより理解しやすくなるためのICT活用
- (3) 児童が自分の考えを文章にまとめたり、調べたことを表や図にまとめたりするためのICT活用
- (4) 児童が分かりやすく発表したり表現したりするためのICT活用
- (5) 児童が繰り返し学習したり練習したりして、知識の定着や技能の習熟を図るためのICT活用

これらの中で、本校の研究では、児童同士の学び合いにつながる(1)(2)(3)(4)のICT活用場面を学習過程に取り入れ、授業づくりをしていく。

6 研究組織



- 研究部
 - ・指導案、ICT機器活用事例などの提案
 - ・指導案審議、研究授業、研究協議の準備、役割分担
 - ・実践のまとめの様式提案 …等々
- 授業推進部
 - ・全教員が授業推進部に所属し、担任は研究授業を行う。
 - ・指導案の検討や授業研究会の流れ
 - 第1次…低学年部、中学年部、高学年部で教材研究
 - 第2次…低学年部、中学年部、高学年部で指導案審議
 - 第3次…指導案審議（職員会議）
 - 第4次…授業公開
 - 第5次…授業研究会（原則授業公開の日に学年部で行う。）